

レディーミクストコンクリート

株式会社 安芸砂利
安芸生コン工場

作成日 2018年 5月 25日
改訂日 2023年 12月 14日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名): レディーミクストコンクリート
普通コンクリート 舗装コンクリート
軽量コンクリート 高強度コンクリート
モルタル/セメントペースト

会社名及び工場名: 株式会社 安芸砂利 安芸生コン工場

住 所: 三重県津市安濃町戸島2510番地

担当部門: 工場長

電話番号: 059-268-4100

FAX番号: 059-268-4101

緊急連絡電話番号: 059-268-4100

推奨用途及び使用上の制限: 建築及び土木構造物等の材料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性: 皮膚腐食性 区分1
眼に対する重篤な損傷性 区分1

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H318 重篤な眼の損傷

注意書き:

【安全対策】

P264 取扱い後は手などをよく洗うこと。
P280 保護手袋, 保護衣, 保護眼鏡を着用すること。
P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐き出させないこと。
P303+P361+P353 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に, コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 【保管】 関係者以外が触れないような措置をし、固化する前に使用すること。
- 【廃棄】 P501 国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
- 【その他】 レディーミクストコンクリート/モルタル/セメントペーストの材料にフライアッシュが含まれる場合、フライアッシュ単味によるばく露のおそれはないが、フライアッシュには危険有害性情報として、H303 飲み込むと有害のおそれ、H341 遺伝性疾患のおそれの疑い、H350 発がんのおそれ、H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ、H370 臓器の障害（呼吸器系）、H371 臓器の障害のおそれ（全身毒性、消化器）、H372 長期にわたるまたは反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系、免疫系、腎臓）、H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがあるので注意すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別： 混合物
- 化学名又は一般名： レディーミクストコンクリート/モルタル/セメントペースト
(以下、レディーミクストコンクリート等と表記する)

成分及び含有率：

含有成分	含有率 (wt%)	備考
ポルトランドセメント*	最大50	3CaO・SiO ₂ , 2CaO・SiO ₂ , 3CaO・Al ₂ O ₃ 等

※ ポルトランドセメントには、酸化マンガ(CAS番号：1344-43-0)が1wt%未満含まれる。

CAS番号及び官報公示整理番号(化審法)：

含有成分	CAS番号	官報公示整理番号(化審法)
ポルトランドセメント	65997-15-1	—
高炉スラグ*	65996-69-2	—
フライアッシュ**	68131-74-8	—

※ 高炉スラグは、高炉セメント又は混和材として使用した場合の含有成分

** フライアッシュは、フライアッシュセメント又は混和材とした場合の含有成分

なお、当該化学品であるレディーミクストコンクリート等は、特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（化学物質排出把握管理促進法）の第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質に該当しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合： レディーミクストコンクリート等を吸入することは考えられないが、体調が優れない場合は、新鮮な空気が吸える場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- 皮膚に付着した場合： 速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受けさせる。
- 眼に入った場合： 速やかに清浄な水で最低15分洗眼したのち、医療処置を受け

飲み込んだ場合： させる。
水でよく口の中を洗浄したのち、医療処置を受けさせる。
ただし、被災者の意識が朦朧としていたり、意識がない場合には、無理に吐き出させず、速やかに医療処置を受けさせる。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 当該化学品は不燃物質であり、近傍から発生した火災を消火するに適した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤： 同上

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
漏出物の回収作業時は、保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、マスク等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項： 漏出に伴う高濃度の洗浄水は中和又は希釈等の処理を行い、直接河川等に流出しないよう対策を講じる。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：
漏出物の回収には、スコップや一輪車等を用い、廃棄するまでの期間は、フレコンバック・土のう袋等に保管する。床や壁等に付着したものは、固化する前に水で洗浄する。洗浄水は回収して、中和又は希釈等の処理を行うために保管する。回収物や回収した洗浄水は、「13. 廃棄上の注意」に従い、廃棄又は排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項： 生コン車やダンプ車から当該化学品を移す場合は、アルカリに侵されず、水密性、剛性を有する金属製容器（一輪車や練り箱など）に入れ、速やかに使用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、マスク等を着用し、取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避： 化学品の使用時に、飲食又は喫煙をしないこと。
アルカリ性を示すため、酸性の製品との接触は避ける。
アルミニウム、アンモニウム塩と反応するので接触は避ける。
凝結が遅延するので、糖類との接触は避ける。

保管

安全な保管条件： 水和反応によって固化するため、保管には適しない。
安全な容器包装材料： 上記のとおり保管に適しないが、安全な容器としては、アルカリに侵されず、水密性、剛性を有する金属製である。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等：	該当しない
設備対策：	型枠の中で使用する。
保護具	
呼吸用保護具：	必要に応じて保護マスクを着用する。
手の保護具：	手に接触するおそれがある場合、保護手袋を着用する。
眼の保護具：	眼に入るおそれがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具：	必要に応じて保護長靴、保護衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	初期は流動性を有する固体であるが、水和反応によって凝結し、固化する。
色：	灰色（若干異なる場合がある）
臭い：	データなし
沸点又は初留点：	データなし
可燃性：	不燃性である
爆発下限界及び 爆発上限界/可燃限界：	該当しない
引火点：	データなし
自然発火点：	該当しない
分解温度：	データなし
pH：	12~13
動粘性率：	該当しない
蒸気圧：	データなし
単位容積質量：	1500~2400kg/m ³ (20°C)
相対ガス密度：	該当しない
粒子特性：	0~40mm

10. 安定性及び反応性

反応性：	自らの水和反応によって発熱するが、危険性は小さい。 なお一般的に気温が高いほど反応性が高くなる。
化学的安定性：	一般環境下において、時間経過とともに水和反応が進行し、 固化して使用不能となる。
危険有害反応可能性：	酸、アルミニウム、アンモニウム塩と反応する。 強アルカリ性を呈する。
避けるべき条件：	酸、アルミニウム、アンモニウム塩、糖類との接触。
混触危険物質：	酸、アルミニウム、アンモニウム塩と反応する。
危険有害な分解生成物：	データなし

11. 有害性情報

急性毒性：	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性：	強アルカリ性 (pH12~13) を呈し、皮膚に対し刺激性があり、皮膚に炎症を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	強アルカリ性 (pH12~13) を呈し、眼刺激性があり、眼の角膜に炎症を起こす可能性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。
生殖細胞変異原性：	データ不足のため分類できない。
発がん性：	データ不足のため分類できない。
生殖毒性：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	データ不足のため分類できない。
誤えん有毒性：	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性：	環境生物に対し、有害であるとの情報なし
残留性・分解性：	水和反応によって固化し、固化後は分解しない。
生体蓄積性：	生体に蓄積しない。
土壌中の移動性：	水和反応によって固化し、固化後は土壌中を移動しない。
オゾン層破壊の可能性：	水和反応によって固化し、固化後は大気中に拡散しない。

13. 廃棄上の注意

残余化学品又は当該化学品が付着した器具や容器の安全かつ環境上望ましい廃棄又はリサイクルに関する情報

残余した化学品（レディーミクストコンクリート等）：	使用することなく余った化学品は、一箇所に集めて固化させた後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。
付着器具及び容器：	化学品が付着した器具や容器を洗浄する場合は、洗浄水の廃棄は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制

国連番号：	—
品名（国連輸送名）：	—
国連分類：	—
容器等級：	—
海洋汚染物質：	該当しない

輸送又は輸送手段に関する

特別の安全対策： 漏れ等の防止を確実に行う。周辺環境への流出に留意する。

国内規制がある場合の規制情報

海上規制情報：	船舶安全法に従う。
航空規制情報：	航空法に従う。
陸上規制情報：	消防法，道路交通法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	第57条の2 通知対象物 「マンガン及びその無機化合物」
化学物質排出把握 管理促進法：	第一種，第二種指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法：	該当しない
廃棄物の処理 及び清掃に関する法律：	産業廃棄物に該当

16. その他の情報

本データシートは，日本産業規格 JIS Z 7253：2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」に準じて作成しており，製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として，現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は，現時点で入手できた資料，情報，データ等に基づいて作成しましたので，新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは，必ずしも製品の安全性を保証するものではなく，弊社が知見を有さない危険性，有害性の可能性がありますので，取扱事業者は，これを参考として，個々の取扱い，用途，用法等の実態に応じた安全対策を実施の上，お取扱い願います。